広報こしがや

（定価一部　二円）
編集と発行
埼玉県
越谷市役所
電話越谷(6)3111番

6月の納税

市県民税……第1期
国民健康保険税……第3期
葛西土地改良区費　第1期

かんらん（キャベツ）の指定産地に

野菜価格の安定がネライ

出荷は共同販売で

農林省では野菜価格の安定と出荷体制を整えるため「野菜指定産地」をつくることになり越谷市は指定地として選ばれました。この指定を受けると「公益法人野菜生産安定資金協会」に国、県、野菜出荷機関が一億五千万円の資金をそれぞれ三分の一ずつ予託し、出荷した野菜が平均価格を下回った場合は、それぞれの保証率に応じて保証し、また平均価格より上回って売れた場合は、上向った額の率に応じて協会に資金をおさめるもので、いわば野菜価格安定のための共済制度といったものです。いまのところかんらん（キャベツ）に限られており、実施は八月ごろの見込みですが、越谷市の場合は、出荷最盛期が五六月の二カ月になりますので、来年の五月から実施ということになります。

また出荷機関も協同販売を実施している機関でなければならないので、市内ではすでに共同販売を実施している増林地区の三園芸出荷組合と狭島地区の一園芸出荷組合が該当するわけで、市内のかんらん総生産高一万八千トンのうち二千六百トンがいまのところ指定産地として出荷が見込まれています。

事業所統計調査

七月一日現在で実施

総理府所管による事業所統計調査は全国一斉に七月一日現在で実施されます。

この調査は統計法に基づく「指定統計調査」として三年目ごとに実施されているもので、ことしは七年目になります。調査は、わが国のすべての事業所（工場、銀行、大工商店、駅、事務所、病院、学校、映画館、旅館、理髪、美容業などを営む場所、及び家内工業などの事業が行なわれている一定の場所）を一斉に調査し、その結果は産業別、規模別、地域別などの統計表として国や地方自治体などの行政、経済施策に役立てるもっとも重要な調査です。なお六月二十七日から七月五日までに総理府統計局長の任命した調査員が各事業所へ調査にお伺いいたしますからその際は格段のご協力をお願いいたします。調査員は次の通りです。

事業所統計調査員

越ケ谷地区小泉好一、原田広秋山八太郎、鈴木卯吉、高橋一男、一柳忠義、七星国久、古川善一郎、渡辺斧太郎、岡崎倉之助、梁谷徳太郎**大沢地区**会田近、中田哲、野口岸太郎、船川多市、藤掛彦次、中村悠輔**大袋地区**藤井準一、村田貞治**新方地区**海老名松五郎**増林地区**石井巌**大相模地区**沢井樹朗、谷塚雄一**蒲生地区**山崎勝治、吉沢五郎、中野源之助神谷京之助**出羽地区**大野義一**荻島地区**大久保菊太郎**桜井地区**長本弘川柳**地区**中村政之助

小口融資制を緩和

利子引下げ、融資額は五十万に

六月一日から小口融資の利子引き下げと融資額の増額により、設備資金や運転資金の融資がグンと緩和されました。

利子はこれまで銀行利子が日歩二銭九厘、信用保証料が三厘で、計三銭二厘であったものが、銀行利子が二厘引き下げられ日歩二銭六厘になり、信用保証料併せて日歩二銭九厘に引き下げられました。また最高融資額は三十万円まででしたが、二十万円増額され最高五十万円まで引き上げられました。

九百八十八万円の融資

この小口融資制度は、小規模の商店や、事業所に運転資金や、設備資金として融資されるもので、資金は市と県が埼玉県信用保証協会に一定の資金を預託しその額の四十倍以内で銀行、信用金庫から融資が受けられるものです。

四月現在の調べでは、市内で小口融資を利用しているものが六十二件、総融資額は九百八十八万円三千円にもなっています。

受給申請はおすみですか

福祉年金を受けている方

老令、障害母子などの福祉年金を受けている方は例年のように証書と印鑑をもって市役所へ届け出をすることになっております。

この届出は去る五月中に各地区ごとに受付けましたが、まだ提出されていない方がありますので、済んでいない方は六月二十日までに年金証書と印鑑を持参して市役所へ届出をしてください。

この届出をしないと年金の支給がとめられますから必ず届出をしてください。

蒲生、川柳、大相模地区に有線放送

各地区の有線を統合する

有線放送を大相模、川柳、蒲生地区八百戸に施設しようと、いま農協でその事業を進めています。工事は六月ごろからはじめられますから、ことしの秋には完成する見込みです。この地区が完成すると越谷市内では越ケ谷、大沢の市街地を除いては全地域に有線放送が完備しますので、さらに各地区の有線放送を統合して中央農協に交換台を設けて市内全地域で通話できるようにするため近く統合の架線工事を行なうことになりました。この工事も大相模、川柳、蒲生が開通すると同時に通話ができるようになります。

養鶏場のハエ駆除

野外実験始まる

大規模養鶏場におけるハエ駆除の野外実験は六月十日から八月末日まで、増林尾川佐兵衛さんほか数戸の養鶏場で実施されます。

最初はハエ取り紙などを置いて実態をつかみ二十日からは二週間に一度ずつ薬剤を散布してハエ駆除の効果を調べます。（写真はハエ取り紙をつけてハエの実態をつかむ実験）

養鶏25万羽に予防注射

伝染のおそれなくなる

養鶏場の伝染病ニューカッスル病は、県畜産課、家畜保健衛生所、市役所産業課、各養鶏家の協力で徹底的な防除や予防注射を実施したために、他に伝染することもなく防げたもようです。

ニューカッスル病とわかったのが六月下旬、あいにくの梅雨と重なって防除作業は困難をきわめましたが六月二十七日から三十一日までの間に発生地付近の養鶏場では五万四千数百羽に及ぶ予防注射を実施、また増林地区では二十万羽の予防注射を実施しました。さらに六月三日から六日までの間に市内の養鶏場では鶏舎などの完全消毒を実施し万全の予防体制をとったため、伝染を防ぐことができたわけです。この伝染病にかかると高熱を出し産卵率も急に落ちて、神経マヒを起したようにグッタリするのが特徴。病原菌は飼料や人の出入りによって空気伝染するものですから、鶏舎内の完全消毒や予防注射、あるいは発生した地域の出入など厳重に禁止することなどが伝染病を防ぐ方法です。なお伝染病の発生した大相模、別府、藤塚地区は移動禁止地域に指定されています。

園芸連、興農会総会ひらく

園芸組合連合会および興農会の合同総会は去る六月八日越谷農業試験場でひらかれ、三十七年度の事業決算などを承認し本年度の予算や事業計画をきめたあと優良単位出荷組合の表彰をしました。園芸組合の本年度の予算は三十万九千円で、事業としては❶単位出荷組合の整備育成❷優良出荷組合の表彰❸生産、販売改善対策❹共同販売実施対策に基づく青果物標準荷造規格の作成❺販売代金の完全農協経由の実施などの事業を実施して中央市場では競合する他産地をおさえ優位な近郊園芸地帯としての発展を図る計画。

興農会、本年度の予算は二十四万七千円で、事業としては、講演会講習会の実施、研究視察、夏作そさいの共進会などを催して農業経営の改善を推進して、経済的地位の向上、農業振興をはかることになりました。

表彰された出荷組合

▽一等＝増新出荷組合
▽二等＝野島出荷組合、中島出荷組合
▽三等＝桜井東部組合、丸共出荷組合、丸新園芸組合、増林出荷組合

表彰された興農会支部

▽＝興農会出羽支部

工業道路が開通

都市計画による工業道路、瓦曽根見田方線の道路改良工事は、本年三月に工事を始めましたが、このほど完成しました。

今度できた道路は四号国道瓦曽根変電所前から、大相模四方地内に至る四百七十㍍、工費は千七百七十万円です。

税金がもどります

昭和三十七年度の個人県民税を納めた方で、次に該当する方は申請書を出しますと、税金が戻されます。昭和三十六年分の所得税を納めた方で、昭和三十七年分所得税額の納税額がなくなった方は、昭和三十七年度として納めた個人県民税を減額してお返えしいたします。該当する方は「昭和三十七年度分個人県民税の減額申請書」を昭和三十八年六月三十日までに税金を納めた市町村役場へ提出してください。

なお、申請書は市役所税務課（窓口七番）に用意してありますから「印鑑」を持参のうえ申し出ください。

保留地処分競争入札は6月21日です

北越谷区画整理事業

北越谷区画整理事業による保留地処分競争入札の申込みは六月七日から六月二十日まで北越谷区画整理事務所で受付けます。

また入札は六月二十一日午前十時から正午まで同事務所で実施されます。今回入札される宅地は千四百坪で十五筆、各筆の最低入札価格や場所は同事務所でわかりますからお問合せください。

市民の声

○どろ水でひどい吉川県道ごみ集めはどのように——

市民の声として赤山街道の悪さをうったえておりますが、吉川に行く街道も同じことです。朝の通勤時バスは駅に近い八条用水、藤塚あたりはとまりませんし、道は雨が降ればどろ水を頭からかぶることすらあり、天気だとすごいほこりです。道の悪い点ではこの上なしです。

また河川にごみを捨てないようにと書いてありましたが、清掃方面はどのような状態になっているのですか？、ごみ集めにもう少し力を入れたら捨てる人もいないはずです。新聞や立札をたてることも重要ですが、どうして捨てるのか原因も考えて下さい。（一市民）

本年からは公共事業として舗装されます

ご指摘の越谷吉川間県道舗装事業の促進についてはしばしば県当局（答え）に陳情や請願を続けると共に地元出身国会議員を通じて建設省に仂らきかけ、幸い今年から国庫補助対象の公共事業として舗装事業が行なわれるよう採択され、その予算がことし四百五十万円（場所は大相模小学校附近）それにいままで行なわれていた県単事業として三百万円（場所は平和橋よりこの先）がそれぞれ予算化しました。今後も公共事業は毎年継続する予定です。（建設課）

きれいな街づくりのため、ごみ集荷に努力していますが、さらに市民の協力が必要です

ごみ集荷は指定された持掃地域（越ケ谷、大沢の市街地）を対照に仕事をしておりますが、最近急激にふえた工場、住宅の進出で、持掃地域周辺、例えば蒲生、大房などにもできる限りごみの集荷をしております。

特掃地域の方々は個人々々として他人に迷惑をかけてはいけない責任があるのですが、まだ一部の人に「捨ててはならない河川や空地」に捨てる無責任の人がおり困っております。

市衛生課では明るい街づくりを念願しており市民の方々も絶対他人に迷惑をかけない心構えを持って頂けたなら、広報や立札の必要もなくなることと思われます。これからいよいよカとハエの時期に入ります。市役所でも一生懸命努力いたしますがそれと同時に、市民のみなさんの自覚と積極的なご協力をお願いいたします。（衛生課）

看護婦さんをさがしています

県では、県内にある病院や診療所に勤務する看護婦さんや准看護婦さんを探しています。

看護婦免状、准看護婦免状をもっている方は七月三十一日までに県庁医務課か保健所にご連絡ください。この届出のありましたかたには、県から調査表をお送りし、希望条件その他を記入していただくことになっています。

訂正

本紙四月一日号「宅地建物取引員の試験」記事中、申し込み受け付けは六月五日まで、とあるのは申し込み締め切りが五月二十五日までの誤りでした。おわびして訂正します。

本紙六月一日号「週休制」の記事中「八百屋さんは土曜日が休み」とあるのを削除します。

商工会だより

外部環境と商店経営

近年経営学の分野で、外部環境といわれる言葉がさかんに議論され、クローズアップされてきました。外部環境とはどういう意味かというと、経営を外部から取り囲んで影響を与えている経営環境とも解されます。

なぜ外部環境が重要視されてきたか、日本経済は戦後著しい成長をとげ、社会構造が急激に変化しつつあるからです。

一例をあげるならば交通機関の発達、工業の地方分散化、広大なアパートの建設などで、これらの問題は越谷市においてもみられることです。いわば環境が静態的な面から動態的な面に変化しつつあるわけです。経営の外部環境が静態的であるということは、経営基盤が安定的であるということであり、事業そのものも安定している。

これに反して、外部環境が動態的な場合は経営基盤が不安定であると同時に、それだけ事業が伸びられる余地もあるわけです。腕次第で事業を拡張することができる、それだけやりがいがあるというものです。また外部環境が変化すれば従来までの固定客のほかに新たな顧客も増大し、顧客の質的変化も当然供います。

それだけにこれらの問題に対応した経営方針を考えなければなりません。たとえば店舗の改装、近代的な商品管理を行なう必要があります。

これらの対策を講じないと、せっかくの顧客を失なうことになりますので、外部環境の変化に注意し、常に時代にマッチした経営方針を打ち立てるようにしなければなりません。

「店舗改装と金融の相談はお気軽に商工会事務所へ」

子宮がんの検診

申込み受付け中です

年に一度は検診を受けよう

市役所国保課では市医師会の協力でことしも子宮がんの検診を実施することになり、いま申込みの受付けをしております。

受付けは六月二十日までで地区、愛育班役員さん、あるいは市役所国保課の窓口へお申込みください。料金は一人百五十円です。検診は申込み人数に応じて各地区で実施する予定で、七月から八月になる見込みです。

◇去年は八百八十六名うける◇

子宮がん検診は去年一月から実施し八百八十六名の方が受けられましたが、その結果は、再検を要するもの二十三人、トリコモナス十七人、カンジダ四人となっており検診を受けた方の二〇％はなんらかの異状が認められております。

◇一年一回は検診を◇

がんは一般のかぜや腹痛などと違ってかかる率も少ないが、それだけにがんになると死亡する率が非常に高くなっています。これははやく症状が表われず、自覚症状がでてから治療したのではすでに手遅れとなるからです。治療のカギは早期発見、早期治療が必要で、このため症状の全然表われない健康な時に毎年一、二回検診をしなければならないわけです。検診はスメヤ氏法といってごく簡単にできるものですから、全然受けていない方は勿論、去年受けた方も進んで受けるようにしましょう。

未結核地区に老人クラブの結成を促進

福祉事務所では老人クラブがまだできていない地域に、老人クラブをつくるよう促進するため去る十四日には未設置地区の民生委員さんにお集りをいただいて、老人クラブ結成についていろいろ協議しました。これは近ごろ老人福祉法が施行される見込みなので、老人の健康保持、クラブの育成、老人家庭の奉仕など福祉事業を行なうために老人クラブ結成の促進をはかろうとするものです。

彌生町で長寿会を結成

彌生町長寿クラブがこのほど発足し、去る六月二日彌生町会所で発会式が盛大に催されました。初代会長には山崎幸七氏（自治会長）が就任しました。会員は六十歳以上の者で組織され、六十名が加入会費は月額百円で、毎月一回集まり、親睦を深め、社会奉仕事業などを行なうことになっています。

自治会長、納税組合長、年金委員

熱海へ一泊二日の旅行

自治会長さん、納税組合長さん、年金委員さんの懇親旅行は七月一日から六日まで、一泊二日で各地区ごとに熱海「いでゆ荘」へ行くことになりました。該当者は四百四十六人おりますが、いまのところ三百六十七人が参加する予定です。

実践俳句教室

日時　七月七日午後一時から
場所　越谷市立図書館
○…初心者を歓迎します。参加者は七月三日までに自作五句を図書館におだしください。

青少年を非行や事故から守るには

第一回準備会ひらく

青少年（幼児）を誘かいなどの事故から守り、その健全な育成を期するため「青少年を守る県民運動」は五月十五日から八月三十日まで実施されます。越谷市においてもこの運動を推進し、青少年の非行問題、健全な育成運動を展開するために、去る六月三日各種団体代表者による「青少年を守る会」が市役所でひらかれました。この会議でとりあげられたことは❶青少年を守る組織の連絡機関をつくる❷青少年問題の周知徹底をはかるため市民大会をひらく❸児童生徒の登下校の指導❹青少年の就職先における生活指導などです。現在青少年を守る機関はいろいろありますが、横の連絡を密にするため連絡協議会（仮称）をつくり、青少年を守る市民運動をもりあげることになりました。

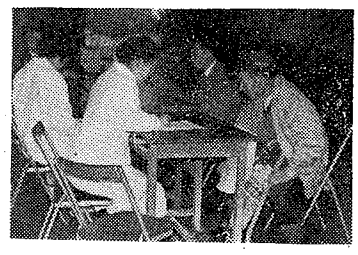
個人説明会をひらく（胃がん）

果まで方な結のた状。
その受けた症ます。
たがてをれお
しらい診われて
しまひず検表して
をらに応に
施実説明会わほかに
ら個人にかのの健康相談に
るら5月に無胃がん
かの有状ただ親切に
検診は去日の異状
月7日のき
診は
結核の実態調査を実施

林西川と森西川で

結核の実態調査は、去る六日、十日の二日間、増林林西川と森西川で行なわれました。

この調査は厚生省が結核対策をたてるために全国二、八〇〇カ所を対象に実施したもので林西川、森西川の住民一八三人のツベルクリン反応と、胸部レントゲン撮影を行なったものです。（写真は結核の実態調査）



東京電力から防犯灯寄贈

このほど東京電力から防犯灯十灯が市に寄付されることになりました。設置場所については教育委員会と連絡課ですでに申請のあった地区を現地調査した結果、次の個所へ設置する予定です。

防犯灯設置予定場所

▽大相模＝四条豊田兼去方東側、幸町内▽桜井＝大里墓地前、下間久里農協倉庫前▽蒲生＝蒲生駅入口▽増林＝増林二区栗田勇治方前▽越ケ谷＝柳田隅田武臣方前、大作岡安工場入口手前▽荻島＝荻島農協前▽出羽＝関根良男方前

全国一斉に小中学校の学力調査

学力の向上がネライ

ことしも全国いっせいに学力調査が行なわれます。この学力調査は小学校五年、六年の児童と中学校二、三年の生徒に対して行なわれるもので、そのひとりひとりの児童生徒や、それぞれの学級や学校全体の学力がどの程度かを全国の水準にくらべて、今後の学習指導の参考にし、児童生徒の学力の向上に役立てようとするものです。わたくしたちは、この調査の目的や内容などを理解して、十分成果をあげることができるよう調査に協力したいものです。

調査は六月二十六日、二十七日

学力調査は六月二十六日、二十七日に行なわれます。二十六日は、小学校が社会、理科、中学校が国語、数学、英語、二十七日は中学校だけで、社会、理科の科目により全国いっせいに行なわれます。

なんのためにするのか

この調査によって、学校や家庭では、たとえば全国の平均や、全国の農村地域の成績にくらべて、同じ農村地域のじぶんたちの学校やじぶんたちの子供の成績はどうかどんな点がおくれているかなどを知ることができます。

このように長所、短所を明らかにして、それに応じた教育をするためのもので、けっして差別教育をするものではありません。また国県、市各学校ではこの調査結果を参考にして、それぞれの教育計画や指導法を改善するほか、教育条件整備のための資料としても利用します。このように調査は、先生がクラス単位でしているテストだけではとうてい得られない意義をもっているのです。

生ワクチンの投与

忘れずに服用させましょう

小児マヒ予防のための生ワクチンの投与は次の通り実施されます。このワクチン服用に該当する方は去る五月に3型の生ワクチンを服用した方です。これまでは地区ごとに実施しましたが今回は市内で体育館一カ所ですから忘れず服用させてください。

六月二十日午後一時半から三時半
市立越谷体育館

農薬の事故を防ごう

薬の使用、管理は厳重に

ことしもまた、農薬を使う時期がやってきました。農薬といえば近ごろは〝きき目も強いが毒性も強い〟というものがたいへん多く使われています。このため毎年「農薬危険防止運動」を行ない事故の防止につとめることになりました。

この運動はことしでも十年にもなりますが相変わらず農薬による事故が絶えず、昨年は県内で三十八名も死亡し、事故は六十四件もおきています。

実際にはこのほかにも中毒者はかなりいるものと考えられます。つぎに農薬事故を薬剤別にみると、なんといってもホリドールによる事故がいちばん多くその割合は、昭和三十五年が一〇〇％、昭和三十六年は九〇％、昨年は八〇％と群を抜いています。危険な農薬には、そのほかエンドリンであるとか、マラソン、カダンなどいろいろ種類がありますが、これらは有機燐製剤、有機水銀製剤といわれ毒性の強いものです。これからは、このような農薬を使う機会がふえてまいりますが、ことしこそ農薬による事故が発生しないよう十分注意して増産にはげんでください。とくに気をつけたいことは、

▽ホリドールなど農薬のなかには、個人で持っていたり、使用することが禁止されているものがあります。防除作業は実施指導員の指導のもとに行ないましょう。

▽長時間にわたる防除作業はさけるようにします。

▽農薬がヒフにふれないように注意してください。

▽使用後はアキビンや残った農薬はかならずもらったところへ返しましょう。

スピーカー

ありがとう

このほど福祉事務所に次の援護物資が寄託されました。

▽衣類一包、皮靴一足＝越ケ谷新三　飯島右内さん

▽衣類一箱＝大沢四丁目　高橋智子さん

詩の会

とき　六月三十日午後一時
ところ　市立越谷図書館
演題　現代詩の鑑賞と作り方
講師　式井　清氏
埼玉詩話会（会長・秋谷愚）同人
地球（主宰・秋谷愚）同人
郎）同人
○…どなたでも自由に参加できます。無料

第30回レコードコンサート

とき　六月二十三日夜六時から
ところ　市立越谷図書館
曲目　▽ドヴォルジャック・交響曲第五番「新世界より」　オーマンディ指揮　フィラデルフィア管弦楽団　▽メンデルスゾーン・ヴァイオリン協奏曲（V）フランチェスカッティ　ミトロプーロス指揮、ニューヨークフィルハーモニー　▽ビゼー・アルルの女組曲　ベイヌム指揮　ロンドンフィルハーモニー

警察官募集

埼玉県では次の通り警察官を募集しています。

▽募集期間　五月十四日から六月二十九日まで

▽募集人員　一〇〇名

▽受験資格

1　年齢　昭和十三年四月二日から昭和十八年四月一日までに生れた男子、ただし高等学校卒業者は昭和二十四年四月一日までに生れたもの。

2　身体強健なもの。

3　学歴は問いませんが、高等学校卒業程度の学力を必要とします。

4　欠格条項　地方公務員法第十六条に規定する欠格条項に該当しないものであること。

▽試験日および科目

1　第一次試験七月七日
警察官として必要な一般的知能および教養について。

土地家屋調査士の試験

土地家屋調査士の試験は八月十一日、埼玉大学で実施されます。受験希望者は七月二日までに浦和地方法務局へお申込みください。

母子愛育班の役員

環境衛生　健民活動の向上が目標

愛育班総会ひらく

母子愛育班の総会は去る六月一日越谷小学校でひらかれ、昭和三十七年度事業、決算報告などしたあと、本年度の事業計画や予算をきめました。本年度の予算総額は十四万八千余円で、寄生虫検診、結核検診などに協力し、また講習会研修会などをひらいて健民活動や環境衛生思想の向上につとめることになりました。本年度の役員は次の通りです。

昭和三十八年度役員

▽愛育長＝石井節子▽副＝長野久子▽副＝鈴木政子▽副＝岩田秋子　桜井▽班長＝平君江▽副＝長野武子、大袋▽班長＝久▽副＝栗原よし子＝山崎ゆき＝宇多川愛子、荻島▽班長＝田村しも▽副＝小川と▽班長＝島村寿ゞ▽副＝関根てる▽島村たけ、雨野すい、吉田たけ　蒲生▽班長＝神谷わか▽副＝大鶴けい、田中いと、秋山君子、高橋今朝恵、川柳▽班長＝深井やい▽副＝渋谷はつ、渡辺りつ、大相模▽班長＝中村ミサヨ▽副＝浅井貞子、佐藤志げ子、芝崎美代子、増林▽班長＝鈴木政子▽副＝江川美智枝、鈴木きく、会田とり、新方▽班長＝小林喜和子▽副＝新方やす、篠田千代、大沢▽班長＝飯島照子▽副＝藤田丸子、大野孝恵、浅子こと、荒川徳子、越ケ谷▽班長＝荒井かよ▽副＝板川里子、野口しげ、高橋徳子、薩摩操

毎日ミルクを配給

妊婦と赤ちゃんに

妊娠五カ月以上の方や生後十二カ月以上の赤ちゃんに毎月ミルクを無料でさしあげております。毎月の配給日は次の通りですから該当する方は忘れずに受けてください。

ミルクの配給を受けられる者

▽妊娠五カ月以上で市役所に届けてあるもの、

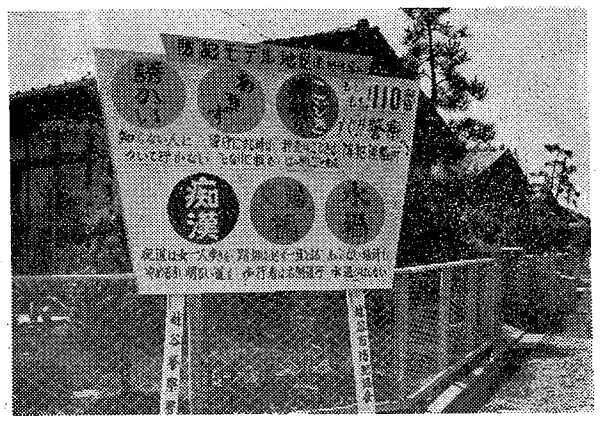
▽産後六カ月以内のもの

▽赤ちゃんは生後十二カ月以上、二十四カ月未満のもの

○…各会場とも時間は午前九時から十一時までです。当日は母子手帳と認印をお忘れなくご持参ください。なお手数料五円です。

ミルクの配給日（毎月同日）

十一日	蒲生
十二日	増林
十三日	大相模
十四日	新方
十五日	桜井
十六日	大袋
十七日	荻島
十八日	出羽
十九日	越ケ谷
二十日	大沢
旧暦	川柳
旧暦	深井
旧暦	市役所
旧暦	市役所
旧暦	市役所
旧暦	市役所
旧暦	市役所
旧暦	市役所
旧暦	市役所
旧暦	市立体育館



（写真は東柳田自治会につくられた防犯モデル地区の立て札）

防犯モデル地区に指定

東柳田自治会

越ケ谷東柳田自治会（六十五世帯渡辺美太郎会長）が防犯モデル地区に、このほど越谷警察署から指定されました。

同地区では一昨年自治会を結成して以来、防火、防犯部などの組織をつくり、十カ所に防犯連絡所をつくって押し売りや物もらいなどがきた場合は隣り近所みんながで断わるなど、ご主人が出勤した留守は婦人たちの力で自治会の防犯活動をつづけてきました。

このように積極的な防犯活動が実を結びモデル地区と指定をうけたもので今後は、さらに防犯灯の増設、お巡りさんの定期パトロールなどを実施して空巣、誘かい、押売、痴漢などの犯罪防止運動をつづけることになりました。